

陸上競技部寮竣工のお知らせ

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）は、2025年9月から建設を進めていた陸上競技部寮の完成に伴い、本日、竣工式を執り行いました。

当社は、2030年ビジョンの経営指針の一つとして「従業員の幸せと会社の発展」を掲げ、その実現に向けた取り組みを推進しています。また、昨年2月26日公表の「[2024-26年度中期経営計画アップデート](#)」の通り、人を大切にする経営を重要な経営戦略の一つと位置づけ、従業員一人ひとりの成長と活躍を支える環境整備に取り組んでいます。

その一環として整備した陸上競技部寮は、選手一人ひとりが競技に専念できる環境を整えるとともに、選手同士やスタッフとのコミュニケーションを促進し、チーム力を高める拠点となります。施設内には、居室や浴場に加え、専用トレーニング室やマッサージ室、低酸素・高酸素設備などを備え、コンディショニングから競技力向上までを総合的に支援する環境を整えています。

このような環境が、世界の舞台で活躍するトップアスリートの育成を支える基盤となるとともに、限界に挑戦する選手たちの姿を通じて夢や感動、誇りを届け、従業員のエンゲージメント向上や組織の活性化につながることを期待しています。

当社は今後も、陸上競技部のさらなる競技力向上と世界トップレベルで活躍する選手の育成に努めるとともに、「人を大切にする経営」を通じて、すべての従業員が安全安心に、そしてイキイキと働くことができる環境づくりを推進していきます。

【陸上競技部 渡邊監督コメント】

このたび完成した陸上競技部寮は、選手が競技に専念し、チームの一体感を育むことができる素晴らしい施設です。
日頃から応援してくださる従業員、地域の皆様、陸上ファンの皆様の期待に応えられるよう、チーム一丸となって競技力向上に努め、世界の舞台で活躍する選手の育成を目指してまいります。

【陸上競技部寮について】

1. 基本コンセプト：

競技力強化	トレーニング	身体づくりができる設備の充実
	休養	十分に回復できる環境
	栄養	目的に沿った食事の提供
チームワーク向上		選手同士のコミュニケーション促進

2. 建設の概要：

所在地	愛知県東海市横須賀町
構造	鉄骨造（2階建ての居室棟・共用棟）
延床面積	982.8㎡
設備	居室：19室 共用スペース：浴場・トレーニング室・ミーティング室
投資額	約6億円



外観イメージ



トレーニング室のイメージ

【陸上競技部について】

設立年	1970年
部員数	長距離：14名、競歩5名
主な成績 (長距離)	全日本実業団対抗駅伝競走大会 ：通算41回出場 直近3回の成績 ：2026年18位、2025年25位、2024年33位 2025年度の自己記録更新17回(11名)
主な成績 (競歩)	山西利和選手 ・オリンピック：男子20km競歩 銅メダル(2020東京) ・世界選手権：20km競歩優勝(2019ドーハ、2022オレゴン) ・日本選手権：ハーフマラソン競歩優勝(2026年)※世界記録 丸尾知司選手 ・世界選手権：50km競歩4位(2017ロンドン) ・日本選手権：50km競歩優勝(2021年) 諏方元郁選手 ・日本選手権：マラソン競歩優勝(2026年)

お問い合わせ先…愛知製鋼株式会社 社長室 広報チーム:052-603-9216